

群馬つつじ会だより



第29号

発行 平成29年11月30日
群馬県精神障害者家族会連合会（群馬つつじ会）
〒371-0843
群馬県前橋市新前橋町13-12
群馬県社会福祉総合センター7F
TEL 027-289-9647
FAX 027-289-9648
E-mail gunmatutuji_k@ybb.ne.jp

全員参加の活動を目指して（群馬県精神障害者家族会連合会・群馬つつじ会会長 吉邑 玲子）



総会であいさつする吉邑会長

新体制が早くも3年目になります。いろいろ分かってくると、その意味の深さや、大変さが浮かびあがります。まさに、現在そんな状態の群馬つつじ会です。いざ、要望書を出そうとすると、現状把握が甘く、問題点までなかなか辿り着きません。県の福祉計画や、支援会議に出席して学び、他県の実績には刺激を受けています。

「差別解消法」が出来、来年度からは障害者就労の法定雇用率が上がり、精神障害者には追い風と言われます。

退院促進事業では、3カ月以内の退院を目指しています。確かに、支援者の方々のご努力には感謝します。しかし、制度が整備されても、病人は生身の人間です。病状が安定せず、退院後も順調に過せているのか、仕事は継続出来ているのでしょうか。

そんな中で、私たち家族は何が出来るか。月一度の県下单会の会長が集まる理事会では、報告、討議に加え、学ぶ場を設けています。会の現状の分析、新情報の獲得、賛助会員の勧誘による他の団体との連携、研修会や相談会の充実と、まずは目先のことから取り掛かっています。

新規事業の家族による家族の個別相談は（隔月）、外部の相談を中心に受け、家族会に繋がる方、また混乱状態から落ち着かれる方を見るのは嬉しいことです。

そして、特筆すべきは、JR半額の請願が、県議会で採択されたことです。関係機関の皆さまに感謝します。今後国会での審議に期待したいところです。

最後のお願いは、家族会員の皆さん、家族会の活動を通して社会参加をし、そのお力をお貸し下さい。病気の方々のため、家族のため、そしてご自分のためにも！

第31回群馬県精神障害者家族会連合会（群馬つつじ会）総会



総会会場風景

去る5月28日（日）群馬県社会福祉総合センターにて群馬県精神障害者家族会連合会（群馬つつじ会）の第31回総会及び群馬県精神保健福祉協会定期総会、並びに講演会が行われました。

今回は日曜日に行われました。午前中つつじ会総会、午後群馬県精神保健福祉協会の総会と講演会が行われました。

講演会は「障害者の就労支援の現場から」を演題に社会福祉法人かんな会 亀井あゆみ氏を講師に迎えお話を聞きました。

内容は 1. 障害者就業・生活支援センターの役割 2. 障害者雇用の現状 3. 働くということ 4. 続けていくためにでした。

同様の支援センターは全国に322設置されていて、群馬県内にも8カ所あり、障害者の就労支援を行っているとの事でした。短時間から無理のない就労で環境の変化、対人関係、ストレス、疲労等うまく付き合いながら徐々に負荷をかけていく方が雇用継続につながっていきますので、そのお手伝いをしてくださる機関です。

平成30年4月より法定雇用率の算定式に精神障害者も加わります。雇用率が上がることを期待します。

群馬県に要望書を提出しました

群馬つつじ会では毎年県知事宛に要望書を提出しております。本年度も会長吉邑はじめ役員3名で群馬県庁障害福祉課へ出向き、提出しました。今後とも活動へのご協力を宜しくお願い致します。

1. 知的・身体障害者と同等の取り扱いを望みます

知的身体障害者と同等の JR 運賃半額割引制度の適用を求めます。全国組織『みんなねっと』でも取り組んで、昨年約 62 万筆の署名を全国家族会で集めましたが、引き続きその実現をお願いするものです。昨年西日本鉄道（大手私鉄）の運賃半額は運動のかいあり、実現しましたが、JR 東日本もこれにならない実現を要望します。

2. 自立支援医療受給者証等の手続きの軽減

自立支援医療受給者証、福祉医療費受給資格者証、障害者手帳の手続きの更新を 5 年として頂きたい。現在、自立支援医療受給者証の手続きは 1 年更新となっています。しかしながら、精神障害者の場合、数年で改善するとは思えず、治るという状態は見込めない現状です。そのため 5 年くらいの節目の手続きが相当と思われます。

3. 障害年金 2 級受給者にも福祉医療費受給を！

全県的に、福祉医療受給を 1.2 級共に認めてほしい。現在、市町村により精神障害者への福祉医療費の補助の状況が、違います。他の障害と異なり、精神障害は 1.2 級に大きな差はなく、病気の併発も多くみられます。昨年度奈良県では全県 1.2 級が同等に認められました。2 級受給者への配慮を強くお願いしたいと思います。

4. グループホームの増設（空き家対策を含めて）

グループホームの増設を空き家の転用を含めて、是非お願いしたい。グループホームの増設が徐々にあるとは聞きますが、家族の声では、未だ充足には至っていません。国交省も取り組もうとしている空き家対策で、地域的に広く建設出来るよう努力していただきたい。それにより、退院の受け皿としても機能し、親が元気なうちに将来の道筋をつけ、親亡き後にも自立した生活が送れるようになることが期待できます

5. 学校教育における精神障害への理解と発達障害との連携

学校現場の教師や子供たちへの精神障害に関する教育は、病気の早期発見、治療につながり、偏見の軽減に結びつくものです。同時に発達障害についても精神の分野に入り、その生きづらさは、かなり重複する部分があると聞きます。発達障害については、国や県をあげて群馬県発達障害支援センターが機能しているようです。それに伴い、精神疾患も併せて早期発見がなされているとすれば、両者併わせての施策が非常に有効と考えます。一般への啓発活動の一環として、当会としてはホームページでの PR、看護学校への講話と努力しておりますが、さらに発達障害と併せた精神障害への理解の啓発をお願いしたいと切に願います。

おめでとうございます！

県福祉大会表彰 みさと会 大久保 利一 会長

大久保氏は、平成16年より地域活動センターステップOne ミサトの創立に尽力され、活動にも積極的に関わってこられました。また、群馬つつじ会にも役員として研修会の企画・提言と問題提起をされ、その功績を称えられ表彰受けられました。

群馬県委託事業 ～家族相談会 in 桐生～

平成29年度の第1回家族相談会が、8月23日（水）桐生市総合福祉センター3階にて開催されました。この日は上毛新聞社の取材もありました。

精神科医や地元保健師、精神保健福祉士（PSW）の専門職とわたらせ虹の会の会員、事務局等13名で対応しました。

相談来所者は、17組で事前予約者が8組、当日相談者が9組でしたがスムーズに行われました。地元家族会にとっても相談を受ける（話を聞く）勉強の場となりました。（野沢 昌枝）

◎ 家族会紹介 ◎



わたらせ虹の会の皆さん

桐生地域精神障害者家族会 わたらせ虹の会

桐生地域に平成7年12月に誕生した家族会です。今22年目を迎えた家族会は親自身も健康不安を抱えた方が増え、親亡き後当事者の地域での暮らしや居場所の充実が求められます事から、福祉課の職員さんをお呼びして「出前講座」を開き、障害者福祉手帳の利用の仕方や自立に向けてのどのような福祉制度があるか勉強会を行いました。高齢化で思う様な活動も行えませんが「赤い羽根募金」の寄付金を受け福祉バスにて関東ブロック大会には毎年参加、又「地域活動支援センター」とのバス旅行、クリスマス会、等を合同で行っております。毎月第3水曜日の例会ではメンバーさんが作るカレーランチを頂きながらおしゃべり会を行い会員さん達のストレスの解消につながればと思っております。家族も元気で精神保健福祉の充実や障害者の社会参加が進む事を願い活動を行って参りたいと思います。（会長 柿沼 文子）

賛助会員を募集しています

群馬県精神障害者家族会連合会では、この会の活動にご賛同いただける一般の方、及び関係機関の方などへ、賛助会員としての入会を呼び掛けています。ぜひ当会の活動をご理解いただき、たくさんの方がご協力くださいますようお願いいたします。

なお、お問い合わせは群馬つつじ会事務局までお願いいたします。

活動内容はホームページをご覧ください。

(<https://gunmatutuji-kai.jimdo.com>)

賛助会費 1 □ 2,000 円

賛助会員のご紹介（順不同・敬称略）

【団体】

松本印刷工業・メルシー・山脈・プライム・はたおと・あまめま歯科クリニック・柴田メンタルクリニック・ステップOne ミサト・つつじメンタルホスピタル・武蔵野病院・ゆずりは会・日輪・群馬病院・サンピエール病院・下横町メンタルクリニック・利根中央病院・ぼれぼれ・大島病院・田中病院・華蔵寺クリニック・希望舎・大井戸診療所・原病院・三枚橋病院・のびる会・ファッションハウスすずまん・うたのまち心理研究所

【個人】

浅見隆康・福田正人・武田滋利・長谷川憲一・伊勢田堯・半田文穂・高橋珠美・松本勝代・春山利光・野沢和美・鎌田由美子・星野寛・長谷川恵子

今後の29年度事業のお知らせ

- 11月30日（水）家族相談会 in 前橋
於：こころの健康センター午前10時～午後3時
- 12月6日（水）～11日（月）障害者作品展
於：県庁1F・2F
- 1月6日（土）個別相談会 午後1時～4時
於：群馬県社会福祉総合センター
- 1月18日（木）研修会
午前10時～12時「困っている事を皆で話し合いしよう」コメンテーター：こころの健康センター所長 浅見 隆康 先生
午後1時～3時30分「知ることは生きること」
講師：日本福祉大学 青木 聖久 教授
- 2月16日（金）障害者雇用事業所バス見学会
- 3月3日（土）個別相談会 午後1時～4時
於：群馬県社会福祉総合センター

— <編集後記> —

今回のつつじ会だよりは、印刷は手刷りで予算削減しました。いかがでしたでしょうか。ぜひ、ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

（編集委員 岡部、野沢）